

岩手郡医報

昭和60年1月 No.18
編集/発行
岩手郡医師会



秘境 内間木洞

内間木洞は葛巻から約40K、山形村でも特に辺境の内間木部落にあり、その規模は全国五位にランクされていて、洞内の標高差、左右の広がりからみた規模は全国第一位の安家洞や、竜泉洞をもしのぎ、スリルに富んだ秘境である。

(昭和38年撮影 文 近藤純造)

年頭の御挨拶

岩手郡医師会長 上野精三

会員の皆々様明けまして御目出度ございます。

皆様御家族、従業員御一同様、さぞかし新しいよい年を迎えたことと御喜び申し上げます。

昭和60年を迎えた訳ですが、今年は昭和の還暦を迎えた年で殊の外意義深き年と思われます。この意義深き昭和の還暦を迎え、年頭に当り一言御挨拶を申し上げます。

私事微力乍ら会長の職を汚し既に12年目を迎えました。

この間色々な出来事に遭遇いたしましたが、何と申しましても一番感ずることは、私共の岩手郡（二戸郡安代町を含む）は広い否、広過ぎるという事と郡の中心地がないことです。

従って役員会とか、総会とかで皆様に御集り願うのに大変御迷惑を御かけいたして居ります。只これはいくら不満を言っても永久に解決出来ない問題であります。

この不便を克服しつゝ残任期間をなんとか完したいと念願いたして居ります。

何卒会員各位の御支援を御願い申し上げる次第であります。

過ぎた昭和59年は私共医界にとっては誠に暗い年でありました。新聞種には事欠かない年でした。

老人医療費の問題、薬価切下げと医療費の「アップ」の問題、「アップ」と言えば新聞は大きく記事にするが果して上ったでしょうか。

之に追い打ちをかける様に社保本人の1割負担の問題、或は監査の問題等嫌な問題丈の年でした。

只、政治、経済、教育、福祉の問題も医界同様騒がしくなって居ります。これから先は如何がなるものやら、察するに余りあります。

この中で日本中で独り丈喜んで居る人は中曾根首相丈ではないでしょうか、小派閥の首領であり乍ら連続首相に推されて。

私共の周辺では又々薬価切下げ3.5%とかの医療費の「アップ」、保健法の改正、監査、税金攻勢等目の先にせまって居ります。只これは私共医療に携って居る間は避けて通れない問題です。この様な問題の多発しそうな中で私共如何様に対処すべきかを皆さん本気でお考えになって下さい。

私共は世の中が如何様になるとも私共の本分丈は守らねばなりません。

どうぞ皆様、新しい年は会員相互相融和し、特に同一町村内の会員は相携えて地元自治体の関係者と心を一にして難局突破に向って邁進して下さい。

何卒会員、御家族、従業員の皆様の御健祥を祈り、更に今後一層の御支援を御願い申し上げて年頭の挨拶といたします。

行事関係報告

1 日医関係

(イ) 12月10日

老人保健法の実態調査について
各町村毎の実態調査のため各町村保健（福祉）課長に協力依頼の上各町村毎下記の先生に調査方依頼してます。

記

葛巻町	佐藤 郁郎先生
岩手町	坂井 博毅 "
西根町	土谷 邦彦 "
松尾村	及川 忠人 "
安代町	伊藤 裕二 "
玉山村	秋浜 晃 "
滝沢村	高橋牧之介 "
零石町	宮杜 亨 "

2 県医関係

(イ) 6月12日

地域医療担当理事会開催され佐藤（郁）理事出席す。

(ロ) 6月15日

県医師会役員選挙の通知あり。

(ハ) 6月28日

昭和58年度救急指定病院等の急患取扱状況調査結果について連絡あり。

(ニ) 7月 6日

有機溶剤取扱者の健康に対する影響の実態調査について協力方の御願いについて

(ホ) 7月 6日

産業医部会の岩手日報社見学参加者の募集について

(ヘ) 7月 7日

岩手県心筋硬塞患者の実態調査について協力方について

(ト) 9月 6日

産業保健関係三者協議会が午後6時より「ホテルニューカリーナ」に於て開催せらる。当会より上野、宮杜、西島担当委員出席す。

○出席者

1) 医師会側

盛岡市医師会
岩手郡 "
紫波郡 "
岩手大衛生学教室
2) 労働基準局関係
3) 業者側
盛岡塗装組合
岩手県自動車体整備協同組合
岩手県印刷工業組合
岩手県クリーニング環境衛生同業組合

○会議の内容

1. 有機溶剤取扱者の健康に及ぼす実態調査
2. 昭和59年10月1日から10月31日迄
3. 検査料 1人 2,500 円

附

有機溶剤の健康に及ぼす影響の調査は誠に重要な問題なるも従業員に対するPRの方法、特に労働基準局並業者団体の下部に対するPRに欠けて居るものを認む。何かこの問題を医師会に押しつけた嫌なきにもあらず。只単に1人検査料2,500円払うから医師会側ですべてを実施せよでは将来に禍根を残すきらいあり。真に従業員のためを思うなら基準局、業務団体の一層の努力を望む。例えば2,500円の半額を業者負担とするなどもっと暖き手を従業員に差しのべる必要あり。

- (チ) 7月8日 昭和58年度県民健康講座の集約冊子の配布あり。
- 第36回岩手県医師会親睦野球大会表彰選手
推せんについて
- (リ) 7月10日 二次救急医懇談会開催さる。
- 第1回産業保健関係三者協議会について
- (ヌ) 7月23日 健康保健法改正に伴う各種取扱いについて
- 都市医師会労務厚生福祉担当理事連絡協議会開催され坂井理事出席す。
- (ル) 7月23日 俊生保護法指定医更新の届出集約について
- 病院経営セミナー開催さる。
- (ヲ) 7月25日 健康保健法改正に伴う各種取扱いについて
- 第3回県医理事及郡市会長会議開催さる。
- (カ) 8月1日 第13回医家芸術展開催について
- 第18回岩手県医師会親善ゴルフ大会開催について
- (ヨ) 8月2日 昭和59年度児童生徒の諸検査検診の打合せ会開催について、秋浜理事出席す。
- 自由民主党岩手県医療会支部員継続並に入党について
- (タ) 8月9日 第13回医家芸術展開催について
- 日本医師会最高優功賞受賞候補者の推せんについて
- (レ) 8月14日 俊生保護法指定医更新の届出集約について
- 県医師会医師賠償責任保険の更新並に未加入者の加入促進について
- (ソ) 8月18日 小規模企業共済制度について
- (ツ) 8月30日 第2回岩手県学校医大会の演題募集について
- 記
ユニホーム（15着） 323,900円
ミット（捕手用） 8,800
マスク（捕手用） 3,500
アンダーシャツ（15枚） 5,450
計 341,660円
- (テ) 9月5日 (ロ) 7月9日 昭和59年医師会費の送付方御願いす。
- 第2回保険問題協議会開催され高橋（牧）理事出席す。
- (ナ) 9月6日 親睦野球大会の表彰選手該当者無き旨報告す。
- 第18回都市医師会事務連絡協議会について、山崎事務局長出席す。
- (ヲ) 9月10日 (ニ) 7月11日

- つゝが虫の発生と予防対策について会員に通知す。
- (ホ) 8月9日 管内養護教諭に対し参考文献を発送す。
- (ヘ) 8月26日 宮古市に於て行なわれた県医師会親睦野球大会に近藤総監督、秋浜監督以下選手多数出場す。善戦するも2回戦に於て敗退す。詳細は別掲す。
- (ト) 9月14日 救急医療問題協議会を下記の通り開催す。
- 記
1. 日 時 9月14日午後6時
 2. 場 所 繁温泉ひまわり荘
 3. 参会者
 - A 郡内指定医療関係の長
 - B 郡医師会役員
 - C 郡内各町村保健（福祉）課長
 - D 郡内各町村消防分署長
 - E 盛岡消防長及消防署長
- 会議は医療機関、消防分署及各町村より色々要望事項あり、今後の対策上極めて有意義なり。
- (チ) 9月19日 郡内各校養護教諭に対し参考文献を発送す。
- (リ) 9月26日 改正健康保健法の説明会を下記の通り開催す。
- 記
1. 日 時 9月26日午後6時
 2. 場 所 玉山中央公民館
 3. 講 師 保険問題担当理事
高橋牧之介先生
- (ヌ) 9月26日 盛岡市医師会主催の盛岡岩手紫波の救急医療懇談会に下記の先生出す。
- 記
- 佐藤郁郎 土谷邦彦
及川忠人 高橋 孝
尚会の内容次の通り。
- 盛岡地区（岩手、紫波、盛岡）
救急医療体制について
打ち合わせ会に出席したがその際に話合いをした重要事項
- ① 老人の救急医療について充分検討してほしい（内科系、充分理解してほしい）。
 - ② 救急医療について転医患者の紹介後の返事がなし？ 転送先も不明であり、その上、患者を全く返してくれない。→ このようなことが統けば、非常につまらないで岩手、紫波医師会は単なる通過地点となっているが将来は絶対的に（紫波医師会にて）くいとめて見せるとの発言あり、医療施設を充分確保して（日赤？）盛岡へはやりたくない（紫波医師会長）。
 - ③ 又近い将来において県立中央病院（県立病院一般についても考えている）各科に5～10ベット位の3次救急ベットを設ける予定。中央病院完成後は岩手、紫波には充分配慮するとの発言あり（樋口先生）。
 - ④ 高次救急センター星先生の答えとしては、転送及び返事について → 充分教育しておくとの言質あり、しかし患者の意志と専門医がいないところが多いので必ずしも期待にこえないと思うが、若い医師へは充分に教育して御迷惑をかけない様にしたい。
 - ⑤ 転医紹介の時について
紹介又は話合いで充分コンタクトをとることをお願いしたい。
 - ⑥ 医事紛争の種になる様な事柄、特に医師の言質及最小限必要な検査は必ず注意深くして記録しておくこと。
 - ⑦ 医療の秩序を確保する教育をすること。

1. 特に町村の保健婦教育や看護婦、医療関係の技師教育及言動には充分留意のこと。
 2. 若い先生方の言質、行動についても充分御指導願いたい。
 3. 岩手郡、紫波郡の1次、2次、3次救急の方途取り扱い等々についても教育しておくこと。末端に充分連絡しておくこと。
 1. 2. 3. の医療の秩序を常に守る様、郡市医師会長は充分御指導、御協力願いたい。
- (特に紫波医師会長より発言があった。)

以上
(報告 土谷)

(イ) 10月13日

学校保健講演会並学校医、保健主事及養護教諭の懇談会を下記の通り開催す。

記

1. 日時 10月13日午後2時より
2. 場所 玉山中央公民館
3. 講師 県医師会学校区担当理事
小川 英治 先生
席上各養護教諭の活発なる意見開陳あり。
特に肥満児問題、人工呼吸、ツベルクリン並に予防接種の問題につき発言多く小川講師並に各役員より説明す。

(カ) 10月15日

郡医師会会計監査を玉山村八角先生宅にて開催す。

出席者 会長、山崎事務長
八角、西嶋 両監事
伊藤監事欠席

(ワ) 10月17日

役員会開催。

1. 場所 玉山村 ふるさと
2. 協議内容
 - A 臨時総会提出議案の協議
 - B 昭和58、59両年度に於ける会員の叙

勅並受賞者の合同祝賀会の準備について

3. 会議の内容次の通り

(A)

1. 司会 高橋(孝)理事
2. 開会の辞 宮杜副会長
3. 会長挨拶
4. 協議
 - (イ) 昭和58年一般会計決算
 - (ロ) " 休祭日当番医補助金決算
 - (ハ) " 特別会計決算
- (二) " 岩手県医師会総会並岩手医学会(春季医学会)担当の際、収支決算

5. その他

6. 閉会の辞 土谷副会長

(B) 昭和58年、昭和59年受賞者の合同祝賀会について

1. 司会 高橋(牧)理事
2. 開会の辞 近藤副会長
3. 会長挨拶
4. 祝賀会委員発表
5. 祝賀会委員長挨拶
6. 祝賀会委員協議 一 報告
7. 閉会の辞 秋浜理事

(カ) 10月25日

臨時総会を下記の通り開催す。

日時 10月25日午後6時より
場所 盛岡市東日本ホテル

1. 司会 坂井理事

2. 開会の挨拶 宮杜副会長

3. 会長挨拶

4. 議事

- イ 昭和58年度一般会計決算
- (ロ) " 休祭日当番医補助金決算
- (ハ) " 特別会計決算

ニ 昭和58年度岩手医師会・岩手医学会
(春季) 担当の際の決算

5. 監事報告 八角監事

6. 閉会の辞 土谷副会長

(ヨ) 10月25日

臨事総会に引き続き会員中昭和58、59年度に於て叙勲並受賞者の合同祝賀会を下記の要領により実施す。

尚当日は三浦県医師会長、加藤同副会長の両氏が御多用中の専門にて御出席下され御祝詞を賜わり厚く御礼申し上げます。

会議次第及叙勲受賞者氏名次の通り。

(A) 岩手郡医師会会員昭和58年度・昭和59年度受賞者合同祝賀会次第

時 59年10月25日午後7時より

所 ホテル東日本

1. 司会 高橋(牧)理事

2. 開会の辞 秋浜理事

3. 挨拶 祝賀会委員長 近藤副会長
岩手郡医師会長 上野精三

4. 記念品贈呈

5. 祝辞 岩手県医師会長 三浦 新也

6. 受賞代表謝辞 土谷 邦彦

7. 記念撮影

8. 乾盃 岩手県医師会副会長 加藤十郎

9. 祝宴

10. 閉会の辞 嶋 理事

(B) 叙勲受賞者氏名

光井庄太郎 黙三等瑞宝章(内閣)

南沢 君平 厚生大臣

小野寺素行 岩手県知事

二瓶 秀男 全 上

土谷 邦彦 東北管区警察局長

早藤 一雄 岩手県警察本部長

瓜田 明義 岩手警察署長

宮杜 亨 岩手県国保連合会長

(C) 叙勲受賞者に対する記念品贈呈者下記のとおり。

受賞者	贈呈者
1. 光井先生	西島先生
2. 南沢先生	坂井先生
3. 小野寺先生	長谷川先生
4. 二瓶先生	及川先生
5. 土谷先生	嶋先生
6. 宮杜先生	高橋孝先生
7. 早藤先生	佐藤郁先生
8. 瓜田先生	八角先生

(タ) 臨時総会に於ける議案の決議せられたる結果次の通り。

昭和58年度休祭日当番医決算書

1. 収入の部

科目	58年度予算額	58年度決算額	摘要
繰越金	475,643	475,643	
補助金	3,307,800	3,307,800	
雑収入	10,000	22,933	
合計	3,793,443	3,806,376	

2. 支出の部

科目	58年度予算額	58年度決算額	摘要
報償費	1,355,000	1,355,457	救急対協 300,000 3支部(15万) 450,000 県医野球 570,457 県医ゴルフ 35,000
需用費	264,000	225,742	会議費 200,142 3支部 24,000 消耗品 1,600
旅費	210,000	208,000	旅費(役職員)
役務費	54,000	76,930	ゴム印 26,720 送料 26,210 3支部 24,000
予備費	8,308	11,300	ユニホーム洗代
医学総会	1,902,135	1,902,135	
合計	3,793,443	3,779,564	

$$3,806,376 - 3,779,564 = 26,812 \text{ (次年度繰越)}$$

昭和58年度一般会計決算書

1. 収入の部

科 目	58年度予算書	58年度決算書	摘要
繰 越 金	1,000 円	437,680 円	前年度繰越
会 費	2,490,000	2,380,000	A 5万円×33人=165万円 B 3万円×22人=66万円 B 2万円×3人=6万円 B 1万円×1人=1万円
補 助 金	90,000	90,000	学校保健 6万円 地域保健 3万円
繰 入 金	200,000	200,000	特別会計
雑 収 入	3,000	17,796	銀行利息
合 計	2,784,000	3,125,476	

2. 支出の部

科 目	58年度予算書	58年度決算書	摘要
会 議 費	700,000 円	839,136 円	総会2回 265,596円 役員会7回 520,540円 部会1回
事 務 費	660,000	654,868	副会長支部長通信費 18万円 役員旅費 204,560 通信費 121,070 消耗品 22,190 印刷費 127,048
広 報 発 行 費	930,000	478,260	編集費 100,000 印刷費 295,000 送 料 43,260 雜 費 40,000
旅 費	500,000	466,380	役職員旅費
交 際 費	100,000	302,135	監査諸掛 120,535 福祉協議会 20,000 広 告 75,000 光#宮社記念品 70,000 郡医監査諸掛 16,600
慶弔費	30,000	196,500	おくやみ 1万×3 30,000 お見舞(1人) 10,000 花輪(1人) 15,000 会員死亡広告 141,500
予 備 費	64,000	56,400	法人税外
合 計	2,784,000	2,993,679	

収入合計額 3,125,476円 - 支出合計額 2,993,679円 = 差引合計額 131,797円は次年度へ繰越

特別会計決算書

収入の部		支出の部	
県医より	1,667,329円	一般会計	200,000円
医師信金より	149,000	医政対策費	91,900
雑収入(利息)	20,365		1,317,567
前年度繰越金	817,937		
	2,654,631		1,609,467

収入合計額 2,654,631円 - 支出合計額 1,609,467円 = 1,045,165円は次年度に繰越す。

昭和59年10月25日

岩手郡医師会

会長 上野 精三

第35回岩手県医師会総会
第71回岩手医学会総会
収支決算報告

収入の部		支出の部	
県医師会補助金	1,500,000円	大会準備費	149,900円
医師信金	150,000	印刷案内郵送	474,320
県医学会	100,000	会場費	252,000
御祝	25,000	懇親会及昼食代	2,743,820
参加料 164×5,000	820,000	記念品代	466,500
8×2,000	16,000	観光費	26,000
休祭日当番医会計	1,902,135	関係者接待費	156,900
		記念写真	22,360
		雑費用	129,980
		消耗品費	91,355
	4,513,135		4,513,135

昭和59年10月25日上記決算書のとおり報告いたします。

岩手郡医師会

会長 上野 精三

(レ) 11月 8日

(1) 岩手県外科・整形外科医会より国民健康保険診療報酬審査委員(外科系)の選考委員1名並選考委員候補者1名を出す様通知あり。

選考委員、候補者共高橋牧之介先生を推せんす。

(2) 社会保険診療報酬審査委員(内科系)の選考委員並に候補者各1名宛出す様通知あり。

選考委員として秋浜晃先生、審査委員候補者として佐藤郁郎先生を推せんす。

(3) 上記外科系、内科系共從來の委員が再選される。

(ソ) 11月 11日

西根町に於て実施せられたる岩手県民「健康新り」教室の講師として上田靖彦先生出席す。

4 昭和59年岩手県民健康講座

本年度は玉山村に於て開催すべく準備す。
運営委員下記の通り。

記

秋浜 晃 運営委員長

八角 正司

宮杜 亨

高橋牧之介

盛岡保健所総務課長

玉山村保健課長

尚岩手県民健康講座岩手郡玉山会場の「カリキュラム」別紙の通り。

本講座の開設に当たり地元玉山村の高橋村長殿始め役場職員の絶大なる御援助に感謝申し上げる。

主催 岩手県、岩手県医師会
担当 岩手郡医師会
会場 玉山村中央公民館
日時 昭和60年1月23日～2月20日
(毎週水曜日)

回	開催年月日	場 所	講 座 内 容	時 刻	担 当 講 師	所 属
			開 講 式	13.00～13.50		挨 捧 盛岡保健所長 玉山村長 岩手郡医師会長
1	60.1.23 (水)	玉 山 中央公民館	(1) 上手に医師にかかるには (2) 胃がんと大腸がん	14.00～14.50 15.00～15.50	上野 精二 八角 正司	上野病院(紫石町) 八角病院(玉山村)
2	60.1.30 (水)	全 上	(1) 産婦人科領域より見た成人病 (2) 少年非行 (3) 健康作りと食生活	13.00～13.50 14.00～14.50 15.00～15.50	坂井 博毅 岡本 彰 小堀 亮子	坂井病院(岩手町) 玉山岡本病院(玉山村) 盛岡保健所栄養士
3	60.2.6 (水)	全 上	(1) 高血圧について (2) 入歯の話と箇擣體制 (3) 肥満とやせ	13.00～13.50 14.00～14.50 15.00～15.50	宮杜 亨 吉田 正利 山田 わか子	御明神診療所(紫石町) 吉田歯科医院(玉山村) 山田小児科(流域村)
4	60.2.13 (水)	全 上	(1) 腰痛症について (2) 家庭の健康管理と看護 (3) 細について	13.00～13.50 14.00～14.50 15.00～15.50	清水 妙正 松田 キミ 高橋 孝	波民間中央病院(玉山村) 玉山村保健婦長 高橋病院(紫石町)
5	60.2.20 (水)	全 上	(1) 健康と足 (2) 虚血性心疾患	13.00～13.50 14.00～14.50	佐々木 茂喜 秋浜 晃	岩手医大教養部助教授 秋浜医院(玉山村)
			閉 講 式	15.00～16.00 (修了証書授与)		

5 慶弔

1. 5月9日

西根町土谷邦彦先生母堂逝去せらる。

2. 8月11日

岩手町佐々木久夫先生実弟（東京医大勤務）
逝去せらる。

3. 12月18日

当会元会員西根町寺田の佐々木芳太郎先生
逝去せらる。

当会より花輪並香奠と弔辞を奉呈す。

（会長葬儀に出席す。）

（平野先生は元当会会員にて松尾鉱山病
院長）

2. 退会

中村 隆二 土谷病院より

（岩手医大に）

九良賀野満雄 渋民中央病院より

（盛岡市山内産婦人科に）

10 記事訂正と御詫び

昭和59年7月発行岩手郡医報No.17の7頁
役員選挙の項監事高橋司とあるは西島康之の
誤り付茲に謹んで訂正いたします。

6 他都市医師会関係

(イ) 水沢市医師会より役員の選挙方法に関し
照会あり。

レントゲンコンファレンスに参加しませんか

7 保健所関係

(イ) 8月9日

盛岡保健所より麻薬の盜難防止につき通知
あり。

岩手町内の先生方で10月からレントゲンフィ
ルムを持ち寄って気楽に話せる臨床検討会を原
則として年に10回を目標に始めました。第一回
は去る10月4日県立沼宮内病院の院長室で高橋
院長の協力のもとに和田先生の話題提供により
Magen Krebsの診断のノウ・ハウ、紛らわ
しいX一線フィルムの読影法、そしてついには
読むに耐え得るX一線フィルムの取り方にまで
話題が進展（？）し、和気あいあいの内に会は
進むする中、工藤先生はアレルギー性肺炎の始
まりから治癒に至る迄の経過を示すChest-
filmの供覧もあり大変楽しく、有意義なお昼
の1時間半を過ごしました。第二回目は11月1
日、場所はおなじ県立沼宮内病院の院長室で、
今回は高橋院長から主としてColon Krebs、
高齢者のInvagination、潰瘍性大腸炎な
どのX-rey Filmと内視鏡film、術後標
本スライドが供覧されました。血便や便通障害
があるときは“痔”などと簡単にかたづけずに
Darmの検査をおくくうがらずに行なうか、お
くくうな人は県病に検査を依頼する事との結論

8 福祉事務所

(イ) 12月10日

昭和59年9月20日附厚生省社会局長通牒によ
る老人ホーム入所者の判定指針により各
福祉事務所に入所判定委員会が設置され
ることとなり岩手紫波福祉事務所長より当
医師会に対し精神科医1名の推せん方通知あ
り。

当医師会より玉山村岡本病院長岡本彰先生
を推せんす。

9 会員の入退会

1. 入会

田村 元 土谷病院に（岩手医大）
平野 修一 東八幡平病院に

が出てお開きになりました。尚今回も佐々木先生からアレルギー性肺炎のChest-film、熊谷先生から肺癌初期のChest-film、和田先生からNieren CysteのI,Pのfilm、中村先生からは30年間入っていた金属性のRingの展示があり、専門外の耳学問は大変興味深く有意義であったと思います。次回は1月中旬に佐々木先生の話題提供により会を開きたいと思いますので興味のある方は 参加下さい。昼食は粗食がでます。

お問い合わせは 01956-2-5111 (代)

(文責 坂井)

~~~~~  
行事関係の報告事項が多く、報告のみの掲載となりました。

折角原稿をいたゞいたが、次号に掲載せざるを得なくなりましたのでご了承願います。

(高橋)

~~~~~